

江崎グリコ株式会社（大阪府）

すこやかな毎日、
ゆたかな人生

Glico

Glicoグループ環境ビジョン2050の実現に向けて

【江崎グリコ株式会社の概要】

- 創業：1922年（大正11年）2月11日
- 本社：大阪府大阪市
- 主な事業内容：菓子、冷菓、食品、牛乳・乳製品の製造及び販売
- 工場：国内14か所
- 営業所：全国10拠点
- 関係会社：国内7社、海外19社
（データは2022年12月末現在）



【食品ロスの削減を目指して】

• Glicoグループは2021年、重要課題に基づいた4つの分野（①気候変動への対応・温室効果ガスの削減、②持続可能な水資源の活用、③持続可能な容器包装資源の活用、④食品廃棄物の削減）について2050年をゴールとした中長期ビジョンを設定。

「食品廃棄物の削減目標」

• 2050年度までに食品廃棄物を95%削減
（2015年度比）

12 つくる責任
つかう責任



【取組の状況と今後の課題】



- Glicoグループでは工場における「ゼロエミッション（※）」を目標に取り組んでおり、国内工場のリサイクル率は2013年以降、平均99.5%以上を継続している。

（※）ゼロエミッションとは、生産活動から発生する廃棄物のうち最終処分（埋め立て処分）する量をゼロにすること。

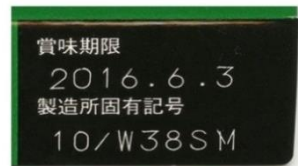
- コーヒー飲料の製造過程で発生するコーヒー豆かすのリサイクル化や、廃棄製品などをさらに有効活用できるリサイクル方法の検討が課題。



江崎グリコ株式会社（大阪府）

【商品関連の取組】

＜賞味期限の延長と年月表示化＞



年月日



年月

- 賞味期限が長い商品について、日付で表示してきた賞味期限を年月表示に切り替え、合わせて賞味期限の延長を実施。
- 賞味期限の年月表示は食品ロス削減効果だけでなく、商品配送時、管理時の業務効率化につながる。



＜ふそろい品の販売＞

- 商品に微細の欠け等、品質に問題のない商品をふそろい品として、アウトレット販売。
※販売場所・時期については不定

＜賞味期限お知らせシステム＞

- カレー等保存食の賞味期限が切れる前にメールで通知するサービスを提供。
- 保存食のローリングストックで食品ロス削減につなげる。



【リサイクルの取組】

＜社内への啓発＞

- 神戸工場では製造工程で発生した食品残渣を飼料とした豚を社内食堂の食材として活用する「リサイクル・ループ」を実施。従業員の食品ロス削減への意識啓発につなげている。



- 社内の食堂やサロンに食品ロス啓発のため「ろすのん」のテーブルトップを設置。

＜フードバンクへの寄贈＞

- 仙台工場からコープ東北サネット事業連合へ、上海江崎グリコから中国の緑洲フードバンクへ、それぞれ食品を寄贈。
- 食品寄贈だけでなく、従業員が寄贈した食品を寄付先へ配達するなど、地域との協働を通じて食品ロス削減を進めている。